



豊かな自然  
かごしま生きもの  
プラン

このロゴは、生物多様性の普及啓発を図るため、「国連生物多様性の10年日本委員会」(UNDB-J)が作成したものです。  
多様な色がつながり合って虹ができてるように、多様ないのちがつながり合って世の中ができていていることを表現しています。

# 鹿児島市 市民生きもの調査

鹿児島市 市民生きもの調査  
調査の手引き

平成29年7月

発行 鹿児島市 環境保全課  
製作 一般財団法人 鹿児島県環境技術協会

写真提供

- ・ヤマセミ …………… 加藤 峰夫 様
- ・アカショウビン …… 喜島 章二郎 様
- ・フクロウ …… 鹿児島市出身・m4432 様
- ・アオバズク …………… 野口 久芳 様
- ・ウマオイ …………… OHMY 様
- ・アキノキリンソウ …… フोट蔵kei 様

## 何か困ったことや聞きたいことなどは下記まで

- 鹿児島市環境保全課自然共生係  
電 話：099-216-1298  
F A X：099-216-1292
- 一般財団法人 鹿児島県環境技術協会  
市民生きもの調査 事務局  
電 話：099-202-0128  
Eメール：ikimono@kagoshima-env.or.jp

# 鹿児島市 市民生きもの調査

## 調査の手引き



鹿児島市 環境保全課

# はじめに

鹿児島市では「鹿児島市生物多様性地域戦略～豊かな自然 かがしま生きものプラン～」を作成し、多様な生きものとともに暮らせる地域作りを進めています。そのためには、私たちが暮らす鹿児島市に、どのような生きものが住んでいるのか、しっかりとした調査をし、その記録を残していくことが必要です。そこで「市民生きもの調査」を実施し、私たちの身近に見られる生きものを調べます。皆様のご協力をお願いします。

## もくじ

はじめに	1
調査のやくそく	2
生きもの調査のやりかた	2
調べてほしい生きもの図かん	
水辺の生きもの	3
カワセミ・ボタンウキクサ・アメリカザリガニ スクミリンゴガイ・ウシガエル・トノサマガエル	
森の生きもの	9
フクロウ・カブトムシ	
草原の生きもの	11
キリギリス・ナガサキアゲハ	
まちの生きもの	13
ヤモリ・セイタカアワダチソウ	

生きもの  
水辺の

生きもの  
森の

生きもの  
草原の

生きもの  
まちの

# 調査のやくそく

- ※調査に行くときは、必ず仲間や大人といっしょに行く。
- ※特に水辺の調査や夜の調査は絶対に一人で行かない。
- ※生きものをつかまえたときは、そこで観察して、他の場所に持っていけないようにする。
- ※調査中は、ぼうしなどをかぶり、水分をじゅうぶんにとる。
- ※危険な動物や植物に注意する。
- ※弱っていたり、死んでいる生きものにはむやみにさわらない。
- ※持ち主がある場所での調査は許可をもらってから始める。

# 生きもの調査のやりかた

探す

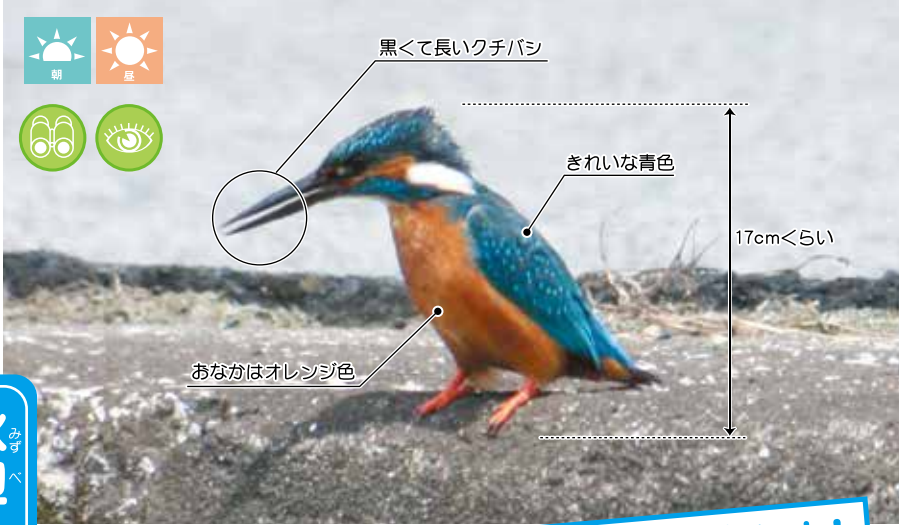
- ・家の近くや出かけたときなどに、この手引きにある「調べてほしい生きもの図かん」(3～14ページ)に出ている12種類の生きものを探してみる。
- ・「他にも調べてほしい生きもの」9種類もいっしょに探してみよう。
- ・「まちがしやすい生きもの」もいるので、みつけたらこれもよく観察しよう。

記録する

- ・生きものが見つかったときは「記録用紙」にその生きものことや、まわりのようすを書きとめる。
- ・「調査地点記入地図」の調査した場所に●印をつけ、調査場所の番号と見つかった生きもの名前を記入する。  
(地図にある記入のしかたを参考してください)
- ・探したけど何も見つからなかったときも「記録用紙」に記入し、探した場所は地図にも記入する。

参加・報告する

- ・生物情報 収集・提供システム「いきものログ」のWEB ページで鹿児島市市民生きもの調査に参加して下さい。  
初めて利用する方は「ログインIDをお持ちでない方」から登録して下さい。
- ・生物情報 収集・提供システム「いきものログ」のWEB ページで鹿児島市市民生きもの調査に報告して下さい。  
詳しくは鹿児島市の「市民生きもの調査」のWEB ページをごらん下さい。  
生きものログのスマートフォン用アプリからも参加・報告できます。



## カワセミ

ブッポウソウ目 カワセミ科

観察のレベル ★★★★★

### 見つけるポイント!

- 場所 …川・池の近く
- 時間 …朝・昼
- 出現量 …ふつう

水辺にすむ小鳥で、きれいな水色で長いクチバシが特ちょうです。体の大きさは17cmほどで、スズメより少し大きいぐらいです。海岸や川、湖、池などの水辺や、まれに公園の池など街の中にもいます。カワセミの住む水のきれいな川は、エサとなる小魚やエビなどが多く、他の水辺にすむ野鳥にとっても住みやすいところです。カワセミがいる所は良いかん境と言えます。

**とくちょう** 水辺で見られる背中の青い色がとてもきれいな鳥。水辺の木の枝などにとまっているのがみられます。

**💡** カワセミが見つかったら、そこはきっと「よい状態の水辺のかん境」があるところです。背中の色がとてもきれいなのでよく見て下さい。その姿は宝石にもたとえられます。見つけられたらラッキーですね。

**注意!** まちがいやすい生きもの とくになし



## ボタンウキクサ

サトイモ目 サトイモ科

観察のレベル ★★★★★

### 見つけるポイント!

- 場所 …川・池
- 時間 …朝・昼
- 出現量 …少ない

水面にうく水草で、水の上に葉を広げ、水中に根をたらしめます。葉は丸い形で、中心からまわりに向かって、タンポポの葉のようにひろがっています。葉は白っぽい緑色で、表面に細かくてやわらかい毛が一面にはえていて、水をよくはじきます。縦にしわがある葉は厚みがあり、中には空気が入っていて、うきぶくろのようになっています。別名をウォーターレタスともいい、昔は金魚店などで売られていたこともありましたが、生長するスピードが速いので他の水草などに害をあたえるため、とったり・育てたり・他の場所へ動かしたりしてはいけない「特定外来生物」に指定されています。

**💡** 昔は店で売られていた水草でした。家の池などで育てている人がいるかもしれませんが、注意が必要です。

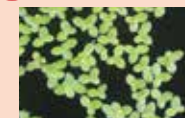
**とくちょう** 白っぽい緑色で、葉の上で水が玉になっていることがある。流れのない池や川の岸のよどみなどに見られます。

### 他にも調べてほしい生きもの

**オオフサモ**  
水の中や水辺の陸上にも生えている  
特定外来生物



### 注意! まちがいやすい生きもの



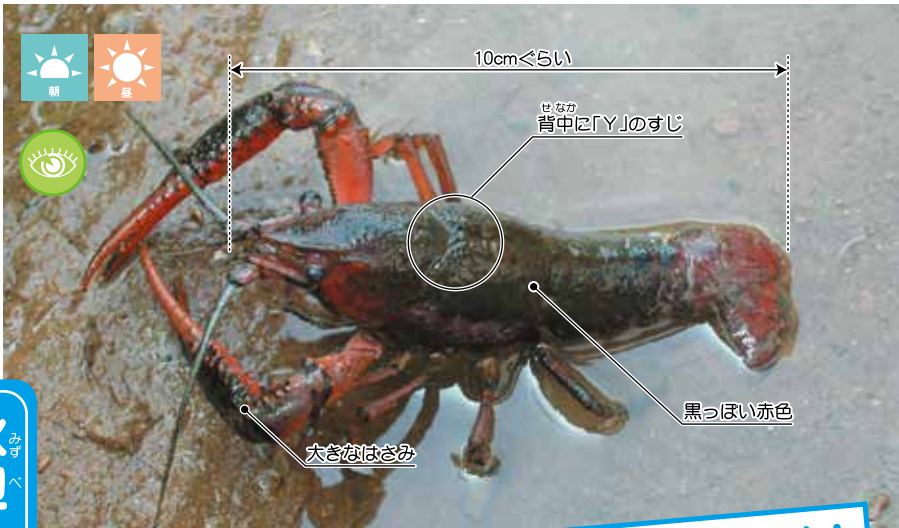
**ウキクサ**  
1cm以下の小型で丸い水に浮いている草



**ホテイアオイ**  
葉っぱが丸くて根元がぶくっとふくらむ  
おらさき色の花がさく  
根っこは黒い



生きもの  
水辺の



## アメリカザリガニ

エビ目(十脚目) アメリカザリガニ科

観察のレベル ★★☆☆☆

### 見つけるポイント!

- 場所 …川・池・水田
- 時間 …朝・昼
- 出現量 …ふつう

昔から、子どもたちがザリガニつりなどをして親しんできました。じょうぶで飼いやすいので、学校などでもよく飼われています。青色や白色の体のもも、まれに見られます。ウシガエル(食用ガエル)を育てるためのエサとして、人間が北アメリカから持ちこんだものがにげ出して、いろいろな所に広がりました。水草や水の中の生きものを食べてしまうので、日本の生きものへのえいきょうがあるとされ「要注意外来生物」に指定されています。

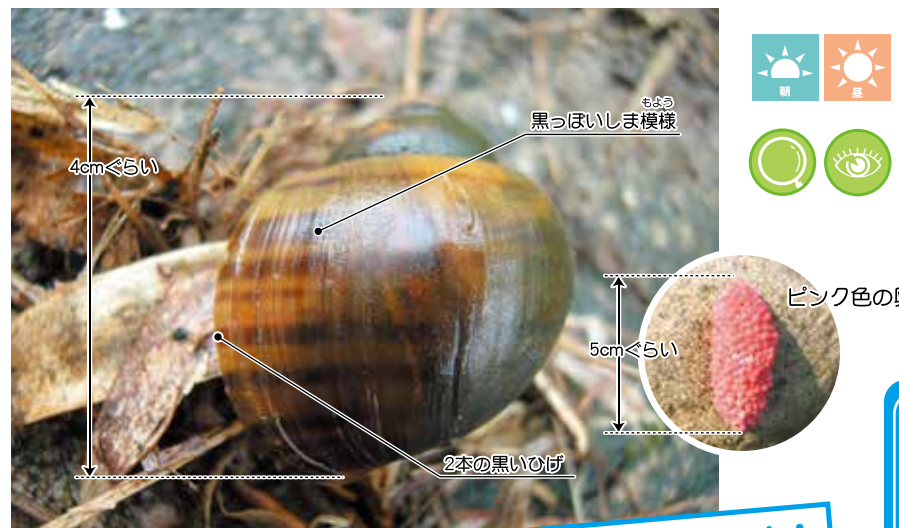
**とくちょう** 赤黒い色をしています。たまに薄い赤色のものや青白い色のものもいます。基本的に模様はありません。ドコの多い池や田んぼに住んでいます。

**注意!** 学校や家などで飼育していることもありますが、飼っているものを放したり、つかまえたものを他の所に放したりしないようにして下さい。

**注意!** まちがしやすい生きもの  
テナガエビなどの仲間  
数cmから20cmくらいになる、小さいうちは色がなく、すきとあった感じでハサミの手が細くて長い、模様のあるものもいる

他にも調べてほしい生きもの  
サワガニ  
山の中や川の上流にいる赤茶色や青白色のカニ  
きれいな水辺をしめず生きもの

生きもの  
水辺の



## スクミリンゴガイ

原始紐舌目 リンゴガイ科

観察のレベル ★★★★★

### 見つけるポイント!

- 場所 …池・水田
- 時間 …朝・昼
- 出現量 …少ない

田んぼに住んでいて、イネを食べることがあるので、農家にとっては迷わぬ生きものです。これが住んでいるところでは、用水路のかべやイネのくきなどに、ピンク色の卵が産みつけられていてすぐわかりますが、農家の方々は卵を見つけると、すぐに取ってしまいます。人が食べるために輸入されたものがにげ出して広がったものと言われています。昔は鹿児島でも養いよくされていたことがあります。ジャンボタニシと呼ばれています。イネなどに害をあたえるため「要注意外来生物」に指定されています。

**とくちょう** 黒っぽい茶色で、貝がらにすじの模様があります。4~5cmの大きな巻貝です。ドコの上などをはっていると、2~3cmもある長い2本の触角(やわらかい黒いひげのようなもの)が見えます。ピンク色で2~3mmの大きさの卵が数百個ついていたらこれの卵なので、貝が見つからなくてもいることがすぐにわかります。

**注意!** 人が外国から連れてきたもので、もともと日本には住んでいない貝です。見つけても他の所に移動しないようにして下さい。

**注意!** まちがしやすい生きもの  
タニシの仲間  
全体にまっ黒く見える巻貝で、触角はほとんど見えない  
カワニナの仲間  
細長くて、とんがった2~4cmの巻貝

他にも調べてほしい生きもの  
カワニナの仲間  
ホテルのエサになる小型の巻貝、水路などにいる



生きもの  
水辺の



## ウシガエル

カエル目(無尾目) アカガエル科

観察のレベル ★★★★★

### 見つけるポイント!

- 場所 …川・池
- 時間 …朝・昼・夜
- 出現量 …少ない

水草の生えている流れのゆるい川や池などに住んでいる大きなカエルです。敵が近づくと水中や水辺の草むらににげこみます。「プー、プー」という鳴き声がウシににているので「ウシガエル」と言う名前がつけられました。別名「食用ガエル」とも言い、食べものとするために大正時代に北アメリカからつれてきて、飼っていたものがにげて自然の中に広がってしまいました。水辺の生きものたちを食べてしまうなど、大きなえいきょうが心配されているため、飼ったり・他の所に運んだり・川などに放すことなどが禁止されている「特定外来生物」に指定されています。

とくちょう

大きなカエル、10cm以上になる。水辺の草が生えている所などで見られます。「プー、プー」という声でもチェックしてください。

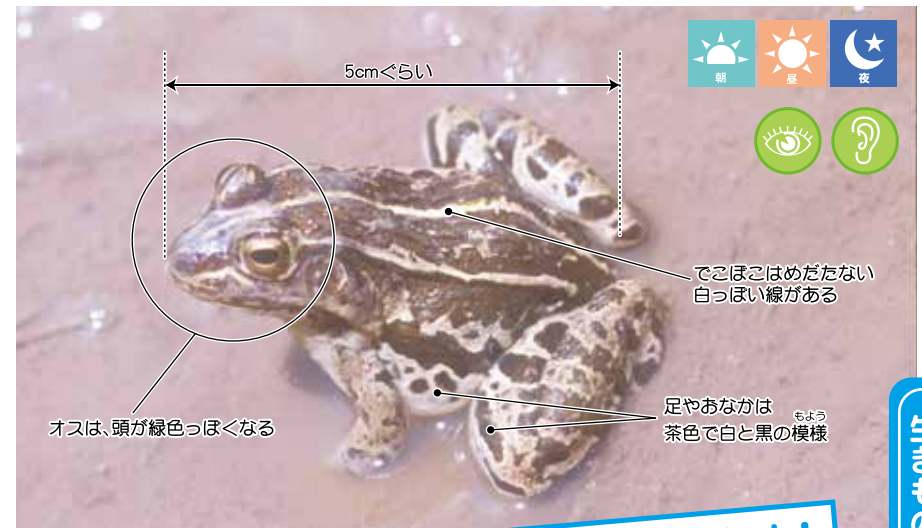
### 注意! まちがいやすい生きもの

ニホンヒキガエル  
10cm以上になるが、体の表面がでこぼこで、水の中にはほとんど入らない。



ウシガエルは人間が外国からつれてきた生きものです。また、鳴き声が大きいため、うるさかられることもあります。

生きもの  
水辺の



## トノサマガエル

カエル目(無尾目) アカガエル科

観察のレベル ★★★★★

### 見つけるポイント!

- 場所 …川・池・水田
- 時間 …朝・昼・夜
- 出現量 …ふつう

平野部から低い山にかけての池、水田付近に住んでいます。春から秋まで活動し、冬は土の中で冬眠します。陸上・水中ともに、とても動きが速いカエルです。水田などでは敵からにげるために、すばやく水中のドロにもぐって身をかくすこともあります。

中くらいの大きさのカエル、茶色で白と黒の点の模様のはメスで、緑がかった色のはオスです。川岸や水辺の草の生えたところなどで見られます。

とくちょう

### 注意! まちがいやすい生きもの

ヌマガエル  
全体に茶色、背中に、でこぼこがある。



田んぼの近くや用水路などで昔から普通に見ることができたカエルです。かんぱれがつかまえられるので、顔をよく見てみてください。目が金色でとてもきれいです。





## フクロウ

フクロウ目 フクロウ科

観察のレベル ★★★★★

### 見つけるポイント!

- 場所 …森・大きな木
- 時間 …夜
- 出現量 …少ない

フクロウの仲間の多くが、夜に活動する夜行性です。フクロウは肉食で、ネズミなどの小さな動物や他の鳥、こん虫などをすどいツメでつかまえて食べます。木の幹にあいた穴をすみかとして1羽またはつがいで生活しています。生きものたちの世界「生態系」の頂点に立つフクロウは、豊かな生態系をしめす生きものです。

### とくちょう

夜行性で大きな木があるところに住みます。神社や学校などの大きな木に住むこともあります。姿がみえなくても「ゴッホウ ゴロツク ホッホウ」という声でチェックしてください。



フクロウがみつかったら、そこはきっと「まわり」に生きものがたくさんいる「豊かなかん境」があるところですよ。もし見つけられたら、光などを当てておどかさないうように優しく観察してあげてください。

### 注意! まちがいがやすい生きもの

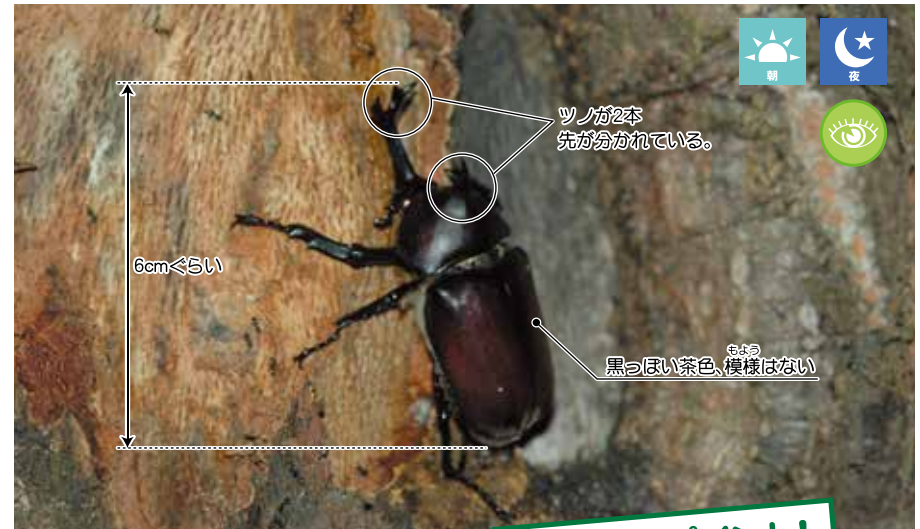
アオバスク

「ホッホウ」と鳴くので声で聞き分け可能

### 他にも調べてほしい生きもの

アオバスク

フクロウと同じく豊かな生態系をしめす生きもの



## カブトムシ

コウチュウ目 コガネムシ科

観察のレベル ★★★★★

### 見つけるポイント!

- 場所 …森・公園
- 時間 …朝・夜
- 出現量 …やや多い

夜に活動する夜行性で、昼間は木の根もとや、かれ葉の下などで休み、夕方になるとエサ場まで飛んでいきます。夜明け前には地面にもぐりこみますが、昼になっても木の幹にとまっているものもいます。おとなのカブトムシはクヌギ、コナラなどの樹液をエサにします。木から樹液が出ている所を見つけておき、朝早く行くと、カブトムシを見つけることができます。

### とくちょう

大きなツノと小さなツノが1本ずつあり、ツノの先が枝分かれています。(メスにはツノがない) 全体に丸い形をしています。クヌギなど樹液の出る木に集まります。夜に明かりに飛んでくることもあります。色は茶色で背中に模様などはありません。



養いよされたものなどが店で売られていることもありますが、買って来たものを、にがさないようにして下さい。とくに外国のカブトムシの仲間を買ったときは、絶対ににがさないように注意して、最後まで大切に育ててあげて下さい。

### 注意! まちがいがやすい生きもの



クワガタムシの仲間  
動く大きなアゴ(ツノに見える)が2本



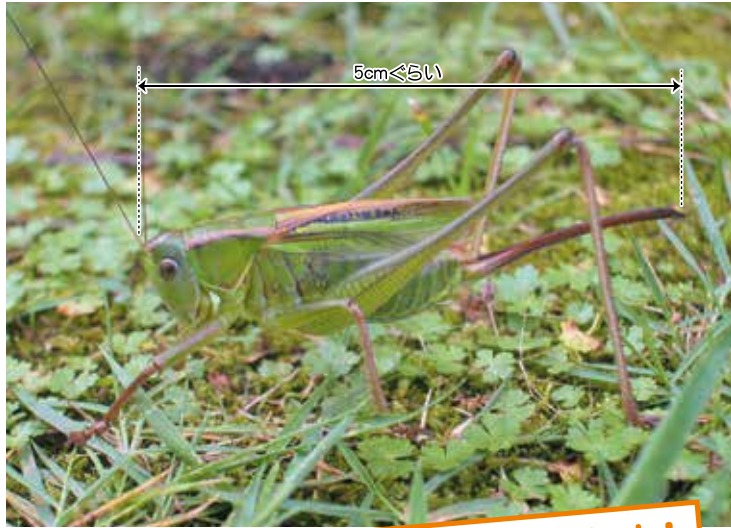
カナブンの仲間  
黒や緑色で小さい  
2 - 3 cm

### 他にも調べてほしい生きもの

外国産のカブトムシの仲間

背中などにスジや模様がある、色が茶色ではない、ツノの形がちがう





## キリギリス

バッタ目 キリギリス科

観察のレベル ★★★★★

### 見つけるポイント!

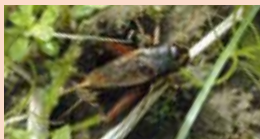
- 場所…草原・川原
- 時間…朝・昼
- 出現量…少ない

川原や草原で鳴いているこん虫としてよく知られていますが、山にもいます。住んでいる場所は、主に日当たりのよい草原ですが、トノサマバッタなどとくらべると、ススキなど背の高い草の根本の所によくいます。オスは「…チョッ、ギーッチョッ」と大きな声で鳴きますが、メスは鳴きません。草上に姿をみせることは少なく、体の色も緑と茶のまだらもようなため、鳴き声はしても姿は見えないことが多くあります。人が近づくと鳴くのをやめてしまうので、キリギリスを見つけるのは大変です。草原などが減ったことや農薬などにより、見つけにくくなっています。

### とくちょう

大きなうしろ足と長い顔、平べったい感じ。茶色の混じった緑色。草原などにいるが姿が見つけにくいので声でチェックしてください。

### 注意! まちがいやすい生きもの



**コオロギの仲間**  
茶色で体は丸いつつのような形  
「コロコロ」と鳴く



**ウマオイの仲間**  
「スイー---チョン」、  
「シッチョン」などと鳴く



キリギリスは童話などにも出てくる有名な虫ですが、姿を見た人は少ないのではないのでしょうか。声が聞こえたら、がんばって姿も探してみてください。そお〜と近づけるかどうかポイントです。



## ナガサキアゲハ

チョウ目 アゲハチョウ科

観察のレベル ★★★★★

### 見つけるポイント!

- 場所…林縁・草地
- 時間…朝・昼
- 出現量…ふつう

日本では南の地域に住むチョウです。江戸時代には九州より南にしか住んでいませんでした。1940年代には山口県西部や高知県南部、1960年代には淡路島へと、すこずつ北にひろがってきており、2000年代の初めには福井県や神奈川県で冬ごししたほか、近年では関東まで広がっています。平均気温が高くなったことで北の方に広がってきていると考えられていて、温暖化をしめす生きものとして注目されています。



温暖化により冬が暖かくなって、もともと南の暖かいところにすんでいた生きものたちが、少しずつ北の方にすむ場所を広げています。ナガサキアゲハもその一つではないかと考えられています。

### 他にも調べてほしい生きもの



**キョウチクトウスズメ**  
幼虫が街路樹でよく見かけるキョウチクトウを食べるガの仲間



**キオビエダジャク**  
幼虫がイヌマキの葉を食べるきれいなガの仲間

どちらも温暖化をしめすと考えられている

大きな黒いアゲハチョウの仲間、後の羽に棒状の出っぱりがないため、飛んでいるとよく見ると見分けることができます。黒い色で、白と赤の斑点が目立ちます。白色が強くて灰色がかって見えるものもいます。

### とくちょう

### 注意! まちがいやすい生きもの

**カラスアゲハ**  
**クロアゲハ**など  
黒色の大きなアゲハチョウ、後の羽には棒状の出っぱりがある



草原の生きもの



## ヤモリの仲間

有鱗目 ヤモリ科

観察のレベル ★★★★★

### 見つけるポイント!

- 場所 …家の周辺・森
- 時間 …昼・夜
- 出現量 …少ない

家の近くなどで見られます。鹿児島には4種類が住んでいて、もっとも普通にいるのはミナミヤモリです。こん虫などの小さな生きものを食べています。夜行性で、昼間はかべのすき間や石の下などで休んでいます。夜になると出てきて、エサをとるため動き回り、明かりのあるところにも来ます。トカゲ等と同じで、おどろいたり敵につかまりそうになると、しっぽを自分で切りにげることがあります。ヤモリは漢字では「家守」「守宮」と書かれるように害虫を食べてくれるということで、家や神社などを守る生きものとして親しまれてきました。

### とくちょう

夜に建物のかべをはい回っていることが多い。指が平べったい形です。街灯などのそばで、光に集まった虫などを食べているのを見ることがあります。ガラスや天井などにも歩くことができます。

### 注意! まちがしやすい生きもの



トカゲの仲間

体が細長く、ふつう夜には見られない



イモリ

水の中にすむ、背中が黒でおなかが赤い



チョロチョロ

うごく歩き方が  
かわいいです。傷つき  
やすいので、つかまえずに  
観察してあげてください。  
ガラス窓でも天井などで  
もくっついて、落ちません。  
すごいですね!



## セイタカアワダチソウ

キク目 キク科

観察のレベル ★★★★★

### 見つけるポイント!

- 場所 …草原・空き地
- 時間 …朝・昼
- 出現量 …多い

もともとは北アメリカに生えていた植物で、日本には観賞用やミツを取るために持ちこまれたとされています。ススキなどの日本にあった植物の生えられる場所をうばってしまっています。川原や空き地などに生えていて、高さは2m以上になることもあります。くきは枝分かれがなく、先の方で花を付ける枝をたくさん出します。秋に、黄色の小さな花を多く付けます。根から化学物質を出して、他の植物などが生えられないようにして増えていきます。日本にもともとある植物などに害をあたえるおそれがあるため「要注意外来生物」に指定されています。

1m以上の大きさになります。数ミリの黄色い小さな花がたくさん集まって、円錐の形になります。つかわれていない田んぼや空き地などによく見られます。

### とくちょう



もともとは日本

になかった植物  
です。他の場所に広  
げないようにして下さい。  
もし花がさいていたら  
虫眼鏡でよく見てみると、  
小さな花がたくさんつ  
いているのが見えます。

### 注意! まちがしやすい生きもの

アキノキリンソウ

花の大きさが1.5cm  
くらいと大きく、  
丸くかたまってさく  
高さも1m以下に  
しかならない

